

令和5年12月度 教育委員会要旨録

1 開催日 令和5年12月20日(水) 午後1時30分～

2 場所 多可町役場 2階 大会議室

1 出席者 教育長 越川 昌信
委員 安藤 和志
委員 岩田 光代
委員 木俣 美代子
委員 名生 陽彦

4 陪席者 教育担当理事兼教育総務課長 金高 竜幸
学校教育課長 吉田 勇二
少子化対策担当理事兼こども未来課長 藤本 圭介
生涯学習課長 藤原 徹
教育総務課課長補佐 吉井 美和
教育総務課主査 有田 好孝

5 内容

日程第1 会議録署名委員の指名

日程第2 教育長の報告

日程第3 議案・承認

承認第14号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について(令和5年11月分)

日程第4 報告事項

(1)各種委員会の報告

(2)教育委員会事務局の報告

【教育総務課】

- ①令和5年度就学援助等について
- ②1月の行事予定について
- ③11月定例教育委員会要旨録について

【学校教育課】

① 1月の行事予定について

【こども未来課】

① 1月の行事予定について

【生涯学習課】

① 1月の行事予定について

(3) 次回教育委員会について

令和6年1月22日（月） 午後1時30分～

(4) その他

閉 会

【開 会】

教育長あいさつ

日程第1 会議録署名委員の指名

木俣委員と安藤委員を指名

日程第2 教育長の報告

12月に入り、日一日と寒くなってきました。今年も残すところ10日余りとなりました。9月1日から始まった2学期も、明後日12月22日で終業式を迎えます。さて、私からは9点ご報告をします。

(1) 第14回北播磨地区子ども会議

11月23日、北播磨5市1町の小学生代表29名が八千代プラザに集まり、第14回北播磨地区こども会議が開催されました。これは北播磨地区子ども会連絡協議会の主催で開催されているもので、今年は「食」について学んだ後、北播磨の優れた食材を使って協力しながらカレーライスとサラダを作るというプログラムでした。多可町学校

給食センターの2人の栄養教諭も講師として参加し、学校給食の献立の秘密についてわかりやすく伝えました。

(2) 兵庫県公立小中学校等教職員永年勤続表彰式

11月27日、令和5年度兵庫県公立小中学校等教職員永年勤続表彰式が、加古川ブラザホテルで開催され、勤続20年となった教職員が表彰されました。私も参加し、式典でお祝いを申し上げました。多可町からは松井小学校の林山教諭、杉原谷小学校の伊藤主幹教諭、中町北小学校丸山主幹教諭、中町中学校の荻野主幹教諭の4名が表彰を受けています。

(3) 第57回兵庫県学校保健主事・担当者研究協議大会

11月30日、第57回兵庫県学校保健主事・担当者研究協議大会が多可町で開催され、県内各地の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校から273名の参加者がありました。大会実行委員長の杉原谷小学校長のご挨拶に続いて、兵庫県教育委員会の体育保健課長から主催者のご挨拶がありました。地元を代表して私から祝辞を申し述べました。講演会では京都女子大学の西岡教授から「子どもの生きる力を育む健康教育」と題して、意思決定能力の育成についてご講演をいただきました。その後、小学校・中学校・高等学校に分かれて校種別研究協議が行われ実践交流がなされました。

(4) 第2回多可町図書館協議会

12月1日、第2回多可町図書館協議会を開催しました。私の挨拶の後、多可町図書館の諸事業の進捗状況について報告をしました。その後、「ボランティア組織の育成と活性化」という館長からの諮問について最終答申案が示されご審議をいただきました。その結果、了承されましたので会長の手から図書館長に答申がなされました。この答申を踏まえ、すべての利用者から親しまれる図書館となるようボランティア組織の育成に努めてまいります。

(5) 第124回 多可町議会定例会

4日から22日まで19日間にわたって第124回多可町議会定例会が開かれています。4日には議会の新体制が発足し、今後2年間日原議長・吉田副議長体制となりました。文教ふくし常任委員会には、足立吉継委員長、藤原副委員長、廣畑議員、門脇保文議員、大山議員、市位議員、吉田議員が所属されています。この日は、こども未来課から先月の定例教育委員会でご協議いただきました条例改正案と補正予算案を上程しました。14日と15日の一般質問には4名の議員さんからご質問がありました。お手元に答弁書を配付しておりますように大山議員からは「子どもの声をまちづくりに生かせ」、藤本議員からは「学校給食費の無償化」、廣畑議員からは「学校の防犯対策」、藤原議員からは「教育現場の体罰、家庭での虐待」という質問があり、私が丁寧に答弁をいたしました。一般質問では、学校園や教育委員会の取組をPRするチャンスととらえ説明責任を果たしてまいりたいと考えております。明後日12月22日の最終日には人事案件や予算案、条例改正案などの採決がなされる予定です。

(6) 第6回統合中学校開校準備委員会

12月6日、第6回統合中学校開校準備委員会が開催されました。総務部会からは、校章のデザイン募集に全国42都道府県から367点の応募があったことが報告されました。そのうち町内からの応募は61点、町内小中学校の児童生徒や教職員からの応募が49点でした。総務部会で慎重に審査した結果6点の優秀作品が決まりました。この6点から最終的に1点を、次回3月に開催される第7回の開校準備委員会で決定することが承認されました。また、校歌は吉田田タカシさんに作詞を、尾崎克典さんに作曲をいずれも多可町ご出身の方々に依頼することが了承されました。そのほかに、教育・事務部会や通学部会の協議の進捗状況について報告がありました。次回第7回の委員会は3月13日に19時30分からベルディーホールで開催される予定です。

(7) 人権週間「多可町民の集い」

12月8日、人権週間「多可町民の集い」がベルディーホールで開催され、340名の方が参加されました。集いでは人権標語で7名、詩で5名、作文で9名、ポスターで11名の子どもたちが町長から表彰されました。そのあと中町南小学校、松井小学校、八千代中学校の子どもたちが代表で人権作文を朗読しました。続いて、あったかあいさつ賞の表彰が行われ、3名と5団体が表彰され、代表で中町中学校生徒会役員三役の手に私から賞状を授与しました。最後に「いのち輝いて生きる」と題して人権テイクルート坂田代表のご講演がありました。教育委員会では「あったかあいさつ運動」を推進しており、今回も集落の区長様、スポーツ少年団、スポーツ少年団保護者代表、小中学校長の皆様からご推薦をいただきました。今後もこの運動の輪を広め、いのちと人権を大切に、こころふれあう町を目指して取り組みを進めてまいります。

(8) 吉田田タカシトークライブ

12月9日、アスパルで吉田田タカシトークライブを開催しました。吉田田タカシさんは、地元多可町ご出身で「つくるを通して生きるを学ぶ」アトリエe.f.t.を開校し現在約200名の皆さんの人間づくりをする教育者であり、ドーベルマンというロックバンドのボーカリストとしても活躍されています。また、不登校の子どもたちを支援する「トーキョーコーヒー」代表として全国に約350カ所もの拠点をつくられたり、「まほうの다가しやチロル堂」の共同代表として地域の子どもを支える仕組みをデザインされ、昨年度グッドデザイン賞内閣総理大臣賞に輝かれたりするなどマルチに活躍されています。トークライブではご自身の多可町での生い立ちから教育の取組を熱く語っていただき、会場に詰めかけた100人の聴衆の方々に感銘を与えてくださいました。ライブの後、校歌の作詞依頼を統合中学校開校準備委員会の赤松委員長らと行い、快諾していただきました。

(9) 第11回多可町こども芸能祭

12月10日、第11回多可町こども芸能祭が開催されました。この芸能祭は多可町内で文化的活動を行っている子どもたちに発表と交流の場を与えようと毎年、多可町の

誇る文化会館ベルディーホールで開催されています。今年のオープニングは中町中学校の龍神太鼓クラブの力強い演奏でスタートしました。その後、あまのじゃくめ組・は組、color's☆、千が峰太鼓、ダンスクラブDROPP、カブキッズたかの6団体102名の子どもたちが次々に舞台に立ちました。会場には延べ221名の皆さんが駆けつけてくださり、大きな拍手をいただきました。子どもたちの演技で地域の方々に元気をお届けできました。この事業を通して、子ども達の自尊感情の向上など更なる成長に繋がることを期待しています。会場ロビーには児童館事業でお茶を習っている子どもたち9名によるお茶席も設けられ、日頃の練習成果を披露しました。

以上9点ご報告しました。ただいまの報告につきまして、何か質疑等はございますでしょうか。

ないようでしたら、日程第3 承認第14号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について（令和5年11月分）を議題といたします。事務局の説明を求めます。

日程第3 議案・承認

承認第14号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について（令和5年11月分）

事務局：（教育担当理事兼教育総務課長）承認第14号の専決処分したものにつき承認を求めることについて説明させていただきます。11月申請につきましては、3件となっております。

まず一つ目、多可町播州歌舞伎クラブ実行委員会の申請で、1月14日にベルディーホールで開催されます多可町播州歌舞伎クラブの新春公演です。先月の定例教育委員会の生涯学習課の資料にもチラシをつけさせていただいておりました新春公演です。

二つ目、新日本婦人の会西脇・多可支部の申請で、12月6日から10日の5日間、那珂ふれあい館で開催されております。広島市立基町高校の生徒が描いた原爆の絵展です。この取組は、被爆者が高齢化する中で被爆の実相を絵画にして後世に残すこと、そして制作を通して高校生が被爆者の思いを受け継ぎ、平和の尊さについて考えることを目的として行われております。

三つ目、ささゆりコンサート実行委員会の申請で、1月7日に開催されます今年度2回目のささゆりコンサートで、沖縄国際大学琉球芸能文学研究会の南風（はえ）のうねりちゅら歌ちゅら舞です。

以上3件です。ご確認いただき、ご承認をよろしくお願いいたします。

教育長：ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問ご質疑等ございますでしょうか。質疑がないようですので、採決に入りたいと思います。

承認第14号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について（令和5年11月分）は承認することで異議ございませんか。

委員：はい。

教育長：ありがとうございます。それでは、承認第14号については異議がないものと認め、提案どおり可決いたします。

続きまして、日程第4 報告事項に入りたいと思います。まず、(1) 各種委員会の報告についてですが、委員さんで出席された会議の報告等がございましたら順によりしく願います。

日程第4 報告事項

(1) 各種委員会の報告

委員：社会福祉協議会評議員の会があり、出席しました。令和5年度予算についての報告がありました。以上です。

教育長：質疑等は後で伺いたいと思います。続いてお願いします。

委員：12月14日に第33回多可町特産品認証委員会があり、8品について審査されました。（商品について説明）全商品、多可町特産品として認証されました。その後、事業報告がありました。多可町の知名度を上げ、たくさんの人に足を運んでもらえるよう取り組まれているそうです。以上です。

委員：11月24日金曜日に令和5年度第1回生涯学習推進協議会に出席させていただきました。主な内容は、今年度の生涯学習関連事業の概要及び社会教育関連事業の内容についての報告がありました。それと併せて、現在進行中の生涯学習まちづくりプラザの進捗状況や概要説明を受けました。その中で委員の方から、アスパルとまちづくりプラザの間に道路が1本通っていますので、日赤へのアクセスも含めて交通量が増えると思われるので、横断歩道の位置や数を検討していただけたらという意見が出ましたが、公安委員会の話もありますので、検討させていただきますという形で現在終わっています。以上です。

教育長：ありがとうございます。今ご報告があった中で、何か質問等ありますか。

社会福祉協議会の評議員会に出られたということですが、そこで出た委員の方の意見で、特に印象に残っていることはありますか。

委員：予算のことが主に議論されました。あと今年度の赤い羽根共同募金と昨年度分の歳末助け合い募金について報告がありました。

教育長：ありがとうございました。特に質疑がないようでしたら次に進めさせていただきます。

続きまして、報告事項（２）教育委員会事務局の報告に入りたいと思います。まず、教育総務課の報告をお願いいたします。

（２）教育委員会事務局の報告

【教育総務課】

事務局：（教育担当理事兼教育総務課長）次第の一つ目、令和５年度就学援助等についてです。（現在の状況について説明）

続きまして、１月行事予定表をご覧ください。統合中学校開校準備委員会の報告です。校章につきましては、総務部会で選定された優秀作品６点を１２月６日の準備委員会で承認いただきまして、３月１３日予定の第７回統合中学校開校準備委員会で、最優秀作品の１点を決定いただくということで決まりました。

また、校歌につきましても、地元ゆかりのお二人、吉田田タカシさんと尾崎克典さんに作詞作曲をお願いすることが決まっている中で、１２月９日にあった吉田田さんのトークライブの後、開校準備委員会の赤松委員長、総務部会の藤本部長、事務局等で早速、校歌の作詞について話をさせていただきました。中学生を交えて一緒に作りたいということでしたので、夏休みを中心に計画を進めています。秋ぐらいには一つの形になるように進めていくということで、少しずつ調整を始めているところです。

教育・事務部会の生徒指導部会では、通学用カバン、制服の着こなし、体操服、体育館シューズ、ウインドブレーカーについて話が出ています。開校準備委員会だより第４号に記載しておりますので、ご覧いただきたいと思います。施設整備部会では、教室や施設の使用について協議をいただいた報告、事務職員部会では、備品管理や口座振替などの処理要領の協議状況について報告をいただいております。通学部会では、通学路の課題と対策ということで、特に生徒たちの安全安心というところを踏まえながら継続的にご協議いただいております。自転車通学の中区等では夜になると非常に暗い所もあるので、その辺の防犯等も含め、地域の方々と連携・協力ができないかという話も出ておりました。

続いて、多可町図書館事業です。１月のイベントとして恒例のかるた会を１月１３日に開催されるということで、小学校４年生以上は百人一首、幼児から３年生まではいろはかるたということで、開催します。

次に、那珂ふれあい館事業です。まず一つ目、12月19日に文化財保存活用地域計画協議会を開催しました。現在、文化財の関係につきまして、地域の声も拾い上げようということで、区長会を通じて区長さんへのアンケートを行ったり、子どもの意見もということで、学校を通じて中学校2年生を対象にアンケートを行っているところです。区長さんからは、お祭りについては携わっておられることもあって関心が高いという話や、維持管理は必要だと思うが、やはり経費的な面で課題があるというようなご意見をいただいております。中学生の意見につきましては、今後取りまとめができ次第報告するということになっております。

二つ目、西脇市との北播磨定住自立圏での巡回共同企画展、平成2年3月に廃線となった鍛冶屋線を題材とした企画展です。期間としましては、多可町側では令和6年1月27日土曜日から2月25日日曜日までです。場所は那珂ふれあい館です。その後、西脇市郷土資料館での開催ということです。多可町と西脇市を繋ぐ鍛冶屋線は全線開通から100年が過ぎておりますが、鍛冶屋線が活躍していた当時の写真や資料を展示し、その記憶を蘇らせると共に今後の当地域の地方交通の在り方を考えるための一助になることを期待して、今回開催されるものです。2月18日には那珂ふれあい館で、元カナソ・ハイニノ国内閣官房長官の小嶋明氏による講演会も予定されています。国の名前は、鍛冶屋、中村町、曾我井という各駅の頭文字を取った名前です。

続いて、学校給食センター運営事業です。1月15日に実施予定の多可町っ子いきいき献立のメニューが決まりましたので、お知らせします。黒豆ごはん（多可町産コシヒカリ）、百日どりの甘酢あん（百日どり、地元の醤油）、小松菜の和え物、金ごまスープ、そしておたのしみデザートということで、ナチュラルのこめたま（山田錦の米粉を使ったスポンジケーキみたいなもの）です。

最後に、11月定例教育委員会の要旨録をつけております。ご覧いただいて、訂正がありましたら連絡等よろしく願いいたします。

教育総務課からは以上です。

教育長：ただいまの教育総務課の報告につきまして、何かご意見、ご質疑等ございませんでしょうか。自由討議で結構ですので、ご遠慮なくご意見をお願いします。

委員：通学用カバンについて、「播州織カバンも含めて自由にします」という記載を見て、これまで子どもたちが使っていてちょっと不便だなと思うことがあったので、これはいいなと思いました。あと、校歌について、「AIによる校歌制作を検討しました」という記載がありましたが、もしされていたらどんなふうだったのかなとふと思いました。

教育長：教育総務課長、お願いします。

事務局：（教育担当理事兼教育総務課長）まず通学用カバンにつきましては、基本的に自転車通学だったところからバス通学など状況が変わってきているので、リュックサックなどを希望されることも想定し、自由にするというで議論をさせていただいております。

それからAIなのですが、実は三重県で実際に取り組んでおられるところがありまして、事業者さんにもウェブでお話を聞いて、いろいろと質問もさせていただきました。かなりAIの方も進んできていて、機械が勝手に作るというよりも、いろいろなデータを盛り込んでいくことによって、いろんな思いを汲み取りながら作っていくということでした。部会でお伝えしますと、「やはり人間の手で作った歌がいいな」というご意見もありましたので、検討した内容を報告させていただいております。

教育長：よろしいでしょうか。先ほどのカバンの件ですが、カバンを入れるロッカーのサイズも設計の関係でもう決まっておりますので、サイズを申し上げてロッカーに入るカバンをそれぞれのご家庭で用意していただくというような形をとるよう進めているところです。ありがとうございました。

委員：開校準備委員会の各部ごとに着々と準備が進んでいるということで、嬉しく思いました。統合と部活動の問題が一緒に進むので、それが大きな課題かなと思いつながり、上手に進むことを応援し、楽しみにしております。

それから文化財保存活用についてですが、私も通知が来ましたので、アンケート用紙を持って公民館長さんや年配の方々の昔話などを聞き取らせてもらいました。地域の方々の文化財保存活用に対しての意識を高めることが大きな目標であったというようなことを後から聞きまして、300軒全部に用紙を配って、子どもは子どもなりに年配の人は年配の人なりに、大切にしなければいけない宝があれば、情報提供いただけたらよかったなと後から思ったりしました。だんだん人口が減ってくると同時に、昔のことが忘れられてしまうことが多いので、非常に良い活動かなと思えました。

教育長：ありがとうございました。教育総務課長、この件について何かありますか。

事務局：（教育担当理事兼教育総務課長）区長さんを初め、今回は中学校2年生の子どもさんにも意見をお伺いして、本当に貴重な意見を返していただいているところです。昨日の会議でも、速報として今集まっている部分について整理し、どう

いうご意見が出ているか説明を受けながら、委員の中で意見交換しております。コロナ禍の影響で事業の簡素化が進んでいる中で、区長さんからいろいろな相談を受けることがあると館長も言っていますが、お願いしてるのはやはりその事業の本質、どういう形でそれが行われてきたかということを知った上で、いろいろ考えていくということが大事なところなんです。単純にこれをやめようとか続けようとかいうことではなくて、やはりこれを機会に住民の方々にもいろいろな情報を流せたらということを考えております。

またいろいろな形でご協力をお願いすることもあろうかと思っております。区長さんにはお忙しい中、本当にありがとうございました。

教育長：それでは他にないようでしたら、教育総務課からの報告を終了し、次に学校教育課の報告に移りたいと思います。学校教育課、よろしくお願ひします。

【学校教育課】

事務局：(学校教育課長) まず小中学校関係で、2学期の終業式が12月22日金曜日ということで、その後冬休みに入っていくということです。3学期の終業式は9日火曜日ということになります。学校給食の関係で、ここ3年ほど中学校では学期の初日と学期の最後の日も学校に来る日は全て給食があるというような形でしたが、いろいろ先生方と相談する中で、学期の初日と最後の日のところについては小学校と同じように昼までにしていこうという方向で動いています。1月9日についてもそういう方向で調整していたのですが、特に3年生が進路のテストをされるということで給食があった方がいいということになり、この日については給食が残ることになっています。その後、3学期の終業式(修了式)については、給食なしにしていく方向で、来年度以降も、初日と最後は給食なしで進めていくということを聞いています。

町統一漢字・計算力テストを1月上旬に、各小学校で日程を設定して行います。

中学生のスポーツ・文化活動の地域展開検討会議ですが、今回、第5回ということになります。1月11日木曜日に予定しております。内容につきましては、子どもたち、保護者の方、地域の方、それから学校の先生方に対するアンケートの内容について協議していきたいと考えております。

第2回トライやる・ウィーク推進協議会は、岩田委員にお世話になりますが、24日水曜日ということで予定をしております。今年度の反省とか来年度に向けた方向性ということで協議していきたいと考えております。

12月はいじめ防止啓発月間ということで、本庁やプラザに垂れ幕などをつけていただいている、今啓発中というところで報告させていただきます。

以上です。

教育長：ただいまの学校教育課の報告につきまして、何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。

委員：1年間まとめて、学校現場ではいろいろな行事が増えてきたり減ってきたりと、来年度に向けて計画されているとは思いますが、確かに削ることによって、非常に中身の濃い指導というか、子どもたちを見守る動きがあるなどと思います。授業時数の関係もあり、学校現場の方では上手に進めてられていると思います。ちょうどコロナ禍の時期に入っているいろんなことが縮小されたということがあるので、この時期を経てようやく少し収まりかけて、来年度以降、平時に入った時にどういう形で、行事が計画されるのでしょうか。例えば、運動会。案外午前中だけで済むとか、炎天下の練習へも配慮して、練習時間や予行も短くなど、これを機に運動会を見直し、その分、授業時間が増やせるなどというようなことがあるかもしれません。年間通じて経験したことを基に、今後の計画を立てられると思うのですが、やはり行事でもって子どもたちを育てるという面もあるし、授業時数もしっかり確保しないといけないということもあるので、大体どんな方向で声が出ているのかなと思ひまして。やはり過去の動きを見ながら先を見通して、学校現場の方向性をしっかり判断してもらいたいなどと思います。以上です。

事務局：(学校教育課長) コロナ禍で行事の精選をして、かなりスリム化して実施した行事、なくなった行事も結構あります。短時間で終わらせて何とか授業時数を確保しようというようなことでしたが、一旦落ち着いてきて、行事などを体験することで得られる自己肯定感を今からどうつけていくのか、そのあたりをどう充実させていくのかということが、これから大切だと思っています。運動会・体育祭については半日がいいという雰囲気は感じるように思います。ただ、保護者の中には、運動会・体育祭にお弁当を持ってくるのが良かったという方ももちろんおられるような状況です。

授業時数については、コロナ禍に入る前には、夏休みの短縮等いろいろな調整をさせていただいていましたが、その後コロナ禍でいろいろなものがスリム化したので、もう授業時数は足りているというようなことになっています。1週間に必要な授業時数というものがあり、例えば中学校でしたら29時間必要ですが、多可町の中学校は30時間あります。毎日6時間、授業をしているということですが、これから先生方と調整していきたいと考えています。

行事が子どもたちを育てるというのは、実際実感としてあるので、すごく大事なことだと思います。例えば、小学校の自然学校、中学校のトライやる・ウィークなど、非常に子どもたちの力がつく行事だと思っています。今度トライやる・

ウィーク推進協議会を予定しているのですが、来年度に向けては、「少しでも早めに子どもたちとトライやる・ウィークに向けた準備がしたい」「1年生の間から行いたい」というようなことも出てきております。いずれにしても、子どもたちの体験の機会が減ってしまっているのです、どこまでそのあたりを保証してあげられるかというところは、これから相談していきたいと思っています。

教育長：他に何かございますか。

委員：先日、小学校の個別懇談がありまして、1時ぐらいに帰ってくるのですが、ちゃんと給食を食べて帰ってきておりました。やはり、給食があるというのは家庭にとってはありがたいと思います。どうして学期の始まりと終わりは給食がないのかなと思ひまして。給食があれば助かるという家庭の声もあるのではないかと思います、どんな声が上がってきているのかなと、ふと思いました。

事務局：(学校教育課長) 学期の始まりは、徐々にスピードアップしていくような感じで半日から始まって、学期の終わりも半日になりながら終わっていくようなものが元々の形でした。例えば、夏休みを過ごして、9月1日に子どもが学校にやってきた時に、いきなり6時間あるというのはやはり子どもたちにとってはすごくしんどい、というようなことを聞きます。それから学期が終わって、ホームルームで通信簿ももらって、その後給食があつてまだ授業があると、それもモチベーション的にはしんどい、というようなことがあつて、小学校は元々初日と最後は給食がないのですが、それに合わせていくような形です。給食がある方が助けられるようなご家庭ももちろんあると思いますが、そういった理由で小学校と合わせていく形になっています。

教育長：よろしいですか。他にないようでしたら、これで学校教育課からの報告を終了し、次にこども未来課の報告に移りたいと思います。こども未来課、報告をよろしくお願いします。

【こども未来課】

事務局：(少子化対策担当理事兼こども未来課長) 1月行事予定をお伝えしたいと思います。

まず一つ目、出前ひろばで1月7日に、「山田錦の米粉でクレープを作ろう！」を実施いたします。

二つ目がホリデイチャレンジで、「プロに学ぶ 4コマまんがを描こう」ということで、1月28日に八千代プラザで実施をします。講師には地元出身の漫画

家の秋山英紀さんをお招きして、4コマまんがのことを学んでいきたいというようなことを企画しております。

三つ目が先月もご紹介させていただきましたが、播州歌舞伎クラブの新春公演を1月14日に開催する予定となっております。ぜひ鑑賞しに来ていただきたいと思っております。

四つ目、おもしろ算数・数学講座を2月3日土曜日に八千代プラザで開催いたします。おもしろ算数・数学講座については、長年白井先生にお世話になっていたのですが、お亡くなりになられたということで、夏以降、講座自体の存続について協議をしてきました。今年度は4人の先生方を中心に実施していただけるということになりましたので、少し時期がずれる感じですが開催できることになりました。こども未来課からは以上となります。

教育長：ただいまのこども未来課の報告につきまして、何かご意見、ご質疑等はありませんか。自由討議で結構ですので、お願いいたします。

委員：秋山英紀さんの4コマ漫画のところですが、なかなか面白い企画だと思って楽しみにしています。この前、秋山さんに多可町内の自然について話を聞いたのですが、多可町にもたくさん食べられる美味しいものがあるということで、見事な多可町の自然の良さを話してくださいました。4コマ漫画の指導もいいですが、そういう違う角度から、「食」に関する話もどこかで子どもたちに聞かせられたらすごくいいと思います。多可町の特産というか、そういったものが子どもたちの中に今のうちから入っていくので、いいことではないかと思うのです。「イノシシや鹿だけでなく、黒トリュフも多可町に根ざしている部分があるので名産にしたら、多可町にもいっぱい人が来るかもしれない」というような面白い話をされました。また、4コマ漫画以外のことでも楽しい話をお持ちの方なので、子どもたちにどこかで聞かせてやってもらいたいなと思いました。以上です。

事務局：(少子化対策担当理事兼こども未来課長) ありがとうございます。

「食」に関することなど、いろいろな知識をもっておられる方と聞いておりますので、子どもたちにそういうことを教えてもらう機会がつかれないか、また次年度以降の企画の参考にさせていただきます。どうもありがとうございます。

教育長：ありがとうございました。

話を聞きながら考えていたのですが、漫画家という世界的に見たら人気の仕事で、そんな方が多可町にいらっしゃるということ自体、本当に貴重な方だと思います。今、中学校1年生の子どもたちにふるさとキャリア教育をさせていただいて、多可町内にいらっちゃって、それぞれお仕事を頑張っておられる先輩方

の話を書くということを設けております。そういった漫画の話を書いたり、多可町の自然の素晴らしさなどに目を向けさせたりできると思いますので、1回中学生対象に計画していきたいなと思いましたが、学校教育課長、いかがでしょう。

事務局：(学校教育課長) 本当にいろいろな可能性というかパターンが考えられると思います。中1ふるさとキャリア教育ということで、ここ2年ほどは、商工会青年部の方にお世話になっていまして、地域で仕事を頑張っておられる複数の若い方と中学生が交流するような形で、3中学校で実施しています。それまでは、多可町にゆかりのあるいろいろな方に交代で来てもらっていたのですが、この秋山さんの話というのは、中学校になったらなかなか自然のことをじっくり考えないと思うので、すごくいいタイミングだと思います。小学校でも話してもらえそうなチャンスはあるかなと感じています。早速、担当に伝え、バンクに入れさせていただきたいと思います。

教育長：これで、こども未来課からの報告を終了し、次に生涯学習課の報告に移りたいと思います。それでは生涯学習課、報告をよろしくお願いします。

【生涯学習課】

事務局：(生涯学習課長) 行事予定表を挙げさせていただいております。

12月24日に「もえぎカフェ第6回」が那珂ふれあい館で行われます。

1月21日にふるさと創造大学で「多可町に住む外国人を招いて、異文化に親しもう」ということで、多文化交流の公開講座を開催します。

生涯大学「多可学園」で「防災と減災を学び備える」ということで、1月26日に開催予定です。

1月7日に、「はたちのつどい」を開催します。平成15年4月2日生まれから平成16年4月1日生まれの方が対象です。多可町に住民票がある方、「はたちのつどい」への参加を希望される方ということで、参加見込み人数としては200名(加美区・八千代区が50名、中区が100名)となっております。

それから、まちづくりプラザ関連ですが、まちづくり実行委員会を12月21日に開催予定です。12月21日もあわせて後3回ほど会議を開催させていただき、提案書にまとめて町へ報告しようと考えております。

先ほどの各委員会報告の中で、特産品の関係でご報告がありましたが、今のところ、まちづくりプラザの中にもシェアキッチンというものも考えておりまして、特産品のグループの方にもお声掛けさせていただいて、参加を検討いただけるといいのかなと思ひまして、情報をいただきありがたいなというように思っております。生涯学習課からは以上でございます。

教育長：それでは、ただいまの生涯学習課の報告につきまして、何かご意見ご質問等ございませんか。

委員：ふるさと創造大学の「多可町に住む外国人を招いて、異文化に親しもう」というのは、外国人の方を招かれるということは、日本の文化を外国人の方に経験してもらうということですか。

事務局：(生涯学習課長) ふるさと創造大学のリーダーが日本語教室の支援者もされていまして、他のメンバーの中にも日本語教室の支援者が数人いらっしゃいますので、交流という形で、外国の文化をふるさと創造大学の受講生の方々に学んでいただくというようなことです。11月5日のふれあいまつりでも、ブースを開設されておりまして、外国人と遊びを通して交流していただいて好評だったということで、その発展系として、受講者の方に外国の文化を体験していただくというような取組でございます。

委員：ふるさと創造大学の話と同様に、多可町では外国の方との交流を進める方向で考えておられるとお聞きしました。多可町には外国の方が300人ぐらい来ておられるのですが、思った以上に多くの方が仕事の関係でお住まいされているというようなことを思いました。私も普段の生活の中で、外国の方とお付き合いができるような場はないかなと思っています。というのはやはり、災害時の安全がまず大事ですので、火事の時、大水や大雨の時にはどういうふうな避難をされたらいいのかということをおもうわけです。そのためには、普段からの小さいお祭りや会合などを通じて、災害時の避難等の話をするべきだろうと思ひ、時折、役員さんと調整してお声かけをするのですが、なかなか進まず、難しいなと思ひているところなんです。地域の方の意識を高めていくと前へ進めると思ひるので、生涯学習課がそういった形で計画されていることがあるようでしたら、地域と災害、災害と外国の方というような結びつきをどこかでしてあげることができればと思ひたりもしました。以上です。

教育長：生涯学習課長、この件について何かありますか。

事務局：(生涯学習課長) 多可町でお暮らしになっている外国人の方も本当に多くて、360人以上に増えてきておりまして、委員さんにご指摘いただいた点はやはり受け止めまして、何かできることはないかアプローチをしております。ただ、外国人の方の移動手段や言葉の問題等もあり、試行錯誤しているところではあります。が、どんなことが障害になるかというようなことも考えさせていただきながら、

地域の防災訓練等に参加していただけないか検討していきたいと思います。

地元町民の皆さんと働きに来ていただいている外国人、「どちらも暮らしやすいまちというのが住みやすいまち」と考えて、生涯学習課としてできることに取り組んでいます。たくさんのボランティアの方にも登録いただいて、ご活躍いただいているのが現状です。なかなか思うように進んでいないところもありますが、ご意見を参考にさせていただいて、進めてまいりたいと考えております。ありがとうございます。

委員：高齢者の方の避難といった災害に対する準備も十分できていないのに、また課題を出してしまったのですが、言葉の壁というのがありますので、どういうふうに災害のことを伝えていったらいいのか本当に難しい問題だと思います。

教育長：ありがとうございました。災害弱者と言われる日本語がわからない外国人の方に対する支援については、町全体でこれからも考えていかなければいけない課題だと思っているところです。外国人の方々がこちらに仕事に来られているので、20代ぐらいの若い方々が増えているというのも多可町の実態としてありますので、そういうことも踏まえて対応していかなければいけないと思っています。

それに関連してですが、町内の小中学校、こども園に外国籍の子が入る場合も出てきております。実際にそういう子どもたちが入ってきた場合は、県の事業で多文化共生サポーターを1年目は配置していただいて、県のお金を使ってその方々に対して支援をする仕組みというのがあります。ただ、2年目以降は県の支援がなくなりますので、そのあたりが今後の課題となっているところです。外国人の方々のお子さんが小中学校に入学してくるということはこれから増えてくる可能性が十分ありますので、また何らかの機会にそういった方々に対する支援もこの教育委員会の中で協議をしないといけないと思った次第です。今後の課題として、残しておきたいと思います。ありがとうございました。

他にないようでしたら、これで生涯学習課からの報告を終了いたします。

(3) 次回教育委員会について

教育長：次に、報告事項(3) 次回教育委員会の開催日について調整をお願いします。

(とき：令和6年1月22日(月) 午後1時30分～で承認される。)

(4) その他

教育長：次にその他に入っていきますが、事務局を含めてその他について何かございますでしょうか。よろしいですか。

本日予定しておりました定例教育委員会の議事日程が全て終了いたしました。これで教育委員会を閉じたいと思います。皆さん、ご協議ありがとうございました。

【閉 会】

教育長 午後2時45分 閉会宣言

令和5年12月20日

Ⓜ

Ⓜ